

## 国労東海貨物協議会第31回定期委員会開催

11月6日（月）14時30分から静岡交通ビルにおいて、東海貨物協議会第31回定期委員会が開催され、委員、役員、来賓の21名が参加する中、「安全・安定輸送の確立」「労働条件改善」「貨物鉄道政策実現」「新人事・賃金制度導入反対」「組織強化・拡大」等、一年間における闘いの経過と、向こう一年間の闘う方針の確立に向け真剣な討論を行ってきました。委員会は、小川副議長の司会で開会し、委員会議長に四日市駅の浅野委員が選出され議事が進められました。



（東海貨物協鈴木議長）



（東海本部上野書記長）

鈴木議長の挨拶では、一年間の活動を総括した上で、「国内の政治動向、鉄道部門黒字達成の背景、中期経営計画2021、労働条件改善、17春闘の闘い、年末手当満額獲得の闘い、職場環境改善要求、要員不足問題、組織強化・拡大、次期ダイヤ改正、交渉の強化」等について報告と決意が述べられました。来賓挨拶では東海本部上野書記長から、「東海本部大会の報告、組織拡大の取り組み、国労運動の継承、構造矛盾の解決に向けた闘い、関連労働者の労働条件改善の闘い、18春闘、憲法・労働法制改悪」について、全貨協木村事務長からは「全貨協定期委員会の報告、中期経営計画2021、貨物会社の経営状況と中間決算、年末手当満額回答獲得に向けた闘いの交渉経過と運動強化の要請、組織強化・拡大」について、交運共済市原静岡事業所長から、「交運共済利用のお礼、台風21・22号の被害」について述



（全貨協木村事務長）

べられました。その後、加藤事務長より2016年度経過報告及び2017年度運動方針（案）が一括提案され一般討論へと移りました。

討論では、「乗務員の異常時における長時間乗務」「乗務員の要員不足」「駅職場の要員不足」「空コン不足問題」「駅における臨時作業のあり方」「パワハラ問題」「55歳以上の労働条件」「嘱託社員・委託会社の労働条件」「技術継承問題」「DF200形式・DD51形式の運用の見通し」「管理者のコンプライアンス」「各種研究会の必要性」「新しい制服の必要性」「組織



強化・拡大」等、多数の委員から報告や質問・要請などが出され、全貨協からの答弁及び加藤事務長からの全体集約を受け、満場一致で今年度の闘う方針を採択し、決算・予算の承認後、委員会宣言を採択し、鈴木議長の力強い『団結ガンバロー』の三唱

で今後の奮闘を誓い合いました。委員会に結集された仲間の問題意識の高さと職場における取り組みにより補強された運動方針を基軸に「安心して働ける職場」「要求の多数派から組織の多数派」を目指し国労東海貨物協議会は奮闘していきます。また、年末手当の闘いとして、今委員会名で貨物会社社長宛に「年末手当満額獲得に向けた寄せ書き」を作成し、参加者全員の思いを記入しました。

その後、場所を移した懇親会では全国情勢等の質問や職場の問題等の話が各所で盛り上がり、更なる組織拡大に奮闘することを誓い合い、全日程を無事終了しました。

### <2017年度新役員>

議 長	鈴木和巳 57	沼 津 駅
副 議 長	大金健治 53	稲沢機関区
	小川敏広 41	富 士 駅
事 務 長	加藤広明 54	稲沢機関区
幹 事	堀江秀一 58	出向・名高
	池田和義 57	静総・運輸
	多賀 明 55	愛知機関区
	中村 剛 54	静総・運転
会計監査	井上 守 54	稲沢機関区
	西川哲英 41	静総・運転